



### 言葉の継承

今回は人生の先輩である介護棟のご入居者の皆様から、日頃より大切にしている言葉や思いをご紹介します

(沖縄方言)

牧志 信子

マクトウ  
ソーケー



「何事も正しい行いをしていれば、神様は必ず見ている。そしていつかは報われる」という意味で、その言葉を忘れずに心に刻んできました。今も信じています。

(沖縄方言)

宮城 和子

ぬちどろ  
たから  
命ドウ宝



まさに命は宝、自分の命(身体)は大切にしたいし、家族の命もちろん大事。沖縄に古くからある言葉で幼い時から母がよく言っていました。そして私も子供たちに伝えてきました。

山口 房勇

出口のない  
トンネルはない



歩くと脳全体が活性化すると聞き実行しています…が時折、体調が悪くなると気分が落ち込み暗いトンネルに迷い込んだ感じがして何とも言えない孤独感に襲われます。しかし【出口のないトンネルはない】という言葉思い出し、自分自身を励ましています。

91歳になると老化は人生の通り路(みち)で素直に受け入れなければと自分に言い聞かせています。“人生はマラソン”だと思い前進する事をモットーとし、今日も杖を友として歩いています。そして歩き続けます。

### 職員紹介



### 比嘉 瞳 ひが ひとみ

- 職種：栄養士 ■経験年数：16年 ■出身地：宜野湾市
- ご入居の方々が生活をしていくなかで欠かせない「食事」という大切な時間に携われて光栄です。「美味しかった」「また食べたい」というお声があった時は、料飲課スタッフ一同、励みとなっております。まだまだ献立が完ぺきではありませんが、これからも色々な料理・食材をご紹介します。よろしくお願いいたします！
- 座右の銘：「笑顔は幸せを呼ぶ」「笑顔でいれば自然と楽しい気分になり、周りに居る方も笑顔になれる」という事は凄いことだと思います。笑顔の連鎖が広がり、皆さんが今日も一日笑顔あふれる日になりますように！